

インフルエンザに注意しましょう！！

◆アピールポイント

若い世代（14歳以下）の感染が拡大しています。早めのインフルエンザ対策を心がけましょう。

●令和5年第39週（9月25日～10月1日）にインフルエンザの市内定点医療機関あたりの患者数が「5.96人」となり、国が定める注意報基準値の「10人」に近づき、今後は注意報が発令されることが予想されます。

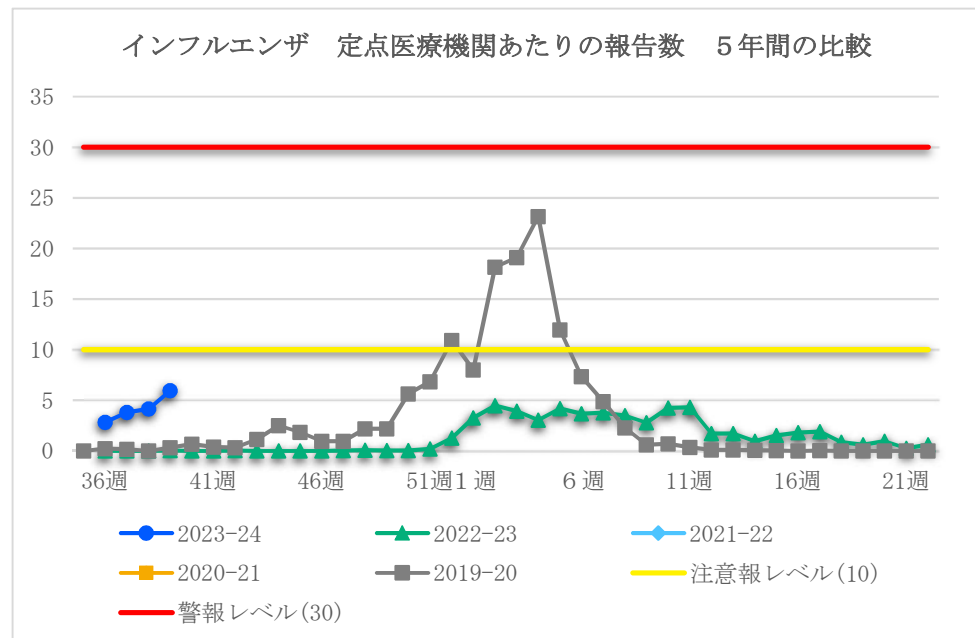
37週 (9/11-9/17)	38週 (9/18-9/24)	39週 (9/25-10/1)
3.80	4.16	5.96

【インフルエンザの流行状況は、あらかじめ定められた医療機関（定点医療機関 25施設）から、1週間に受診したインフルエンザの患者数を報告してもらい、1 定点医療機関あたりの患者数で評価します。】

下記ホームページをご参照ください。

https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_003624.html

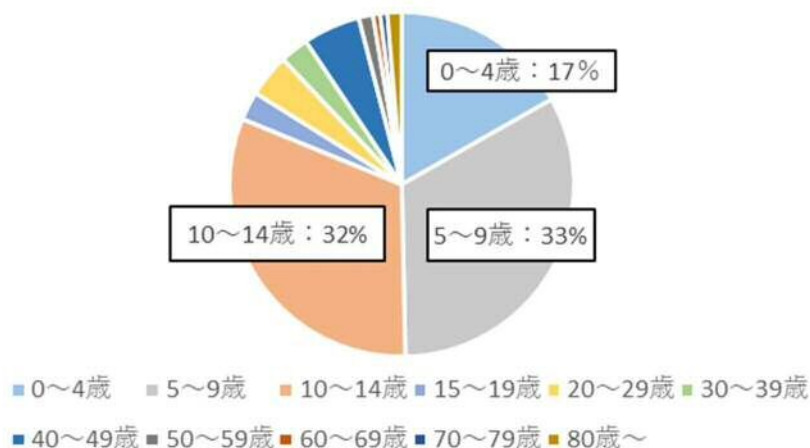
◆内容など



※2020-21 シーズンと 2021-22 シーズンは新型コロナウイルス感染症の影響で検査件数が極端に少ないため、集計の対象外としており、グラフに記載はありません。

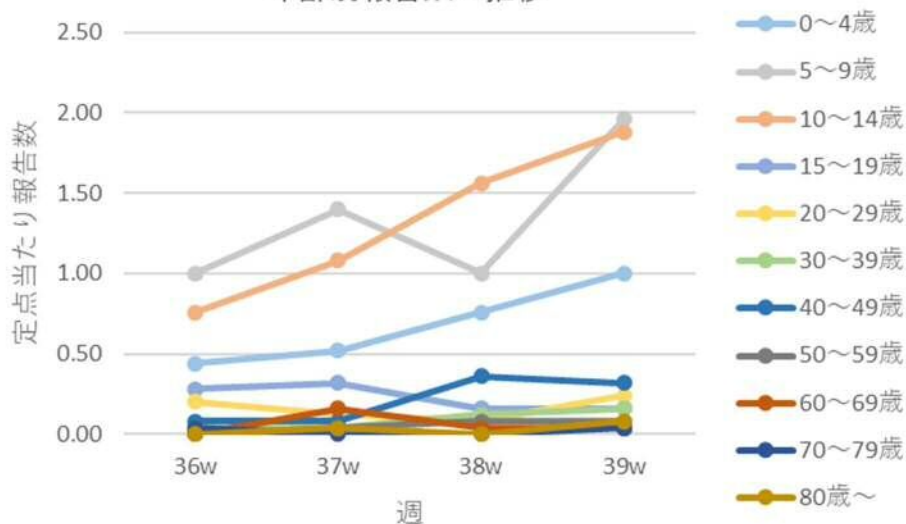
●インフルエンザは突然の高熱、頭痛、関節痛など、普通の風邪に比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することがあるため、高齢者や乳幼児などは特に注意が必要です。

39週定点当たりの報告数内訳



●39週の内訳では、14歳までの患者が全体の82%を占めています。

年齢別報告数の推移



●14歳以下の患者が特に多く見受けられるので、受験生や身近に受験生がいらっしゃる場合、学校・学習塾などでは感染予防に努めましょう。

●インフルエンザの予防のためには以下の対策が有効です。

- ・手洗いや咳エチケットの励行
- ・適度な湿度保持
- ・人混みや繁華街への外出を控える
- ・こまめな換気

別紙資料 無

【問合せ】 保健所保健予防課（葵区城東町
城東保健福祉エリア保健所棟2階）
担当 酒井、河村、菅原
電話 054-249-3172